



9月号 (No.6)

2025年9月1日

帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

運動会に向けて

帝京大学小学校 校長 石井卓之

猛暑日の連続記録が更新されるなど、本当に暑い夏休みでした。学校では、散水してもすぐにプランターが乾き、植物がかわいそうな日々が続いています。そんな中、学校に届いた暑中見舞いや残暑見舞いからは、楽しい夏休みの様子が絵や文章でかかれていました。2学期は、運動会や学芸会があります。忙しい学期ですが、子どもたちの活躍の機会が数多くありますので、新たな力を発揮してくれることを楽しみにしています。

【昨年度の保護者の皆様からのご意見等を受けて、今年度の運動会の改善に活かす主な内容をお知らせします。】

- 用具係の担当児童の場所にテントが張られていなかった。
(対応) 借用可能なテント数が想定より少なく、日陰とならない係児童のスペースにテントが行き渡らなかった。学校の責任であり、今年度はテントを張れるように数量を確保します。
- 親子競技、保護者種目、教職員競技などがあるとより一体感がもて、盛り上がる。子どもたちの種目数や競技回数がもう少しあるとよい。種目の間隔が短いので、子どもたちが休めているのか心配。
(対応) 気温、紫外線等の気象状況及び低学年児童の体力を考えると、12:30 終了を目指すことがベストだと考えています。保護者の皆様が経験してきた運動会とは異なる部分がありますが、ご理解ください。進行については、子どもたちの過負担にはならないように気を配っていきます。
- 子どもの隊形移動が多く移動の距離も長いので、保護者の移動が間に合わない。また、子どもの移動位置を知らせてもらえるのはよいが、もう少し早く連絡してほしい。
(対応) 隊形移動を少なくすると、「変化が少なく、見ごたえがない」とのご意見をいただきます。身長や得意・不得意など色々な条件を考えて子どもを配置するので、ご理解をいただければと思います。また移動隊形の児童の場所は、ギリギリまで最適な位置を考えて決めるためにどうしても遅くなりますが、できるだけ早く連絡できるように努力をしていきます。
- 日傘の使用の可否を明確にしてほしい。
(対応) 暑さ対策としての必要性もありますが、前方で使用すると後方の方の参観に影響があります。本年度の運動会のお知らせで明確にしていきます。

【ご意見の中で、保護者にご協力をお願いしたいものもありました。】

- 保護者の私語が多く、注意事項のアナウンスが聞き取りにくかった。
(お願い) アナウンスが聞き取りやすくなるように、放送が入ったときはご協力をお願いします。
- 徒競走の優先エリアで次の学年の保護者が早く来ていたので、観戦しづらかった。昨年度もそうであったが、終わった学年の保護者が最前列から移動するのが遅く、せっかく名前を呼ばれても列に入れなかった。また、名前を呼ばれていない保護者が最前列にいることもあった。
(お願い) 事前にお知らせしているルールを守り、最高のシャッターチャンスをどのご家庭も得られるように、ご協力をお願いします。

【学校に協力をしていきたいという、前向きなご意見もいただき、大変ありがたく思いました。放送で協力依頼があった場合は、よろしくお願いいたします。】

- 片付けやお手伝いなど、放送してもらえれば協力したい。

職員室の窓

夏休み開催しているロボキッズ。今年度は初級20名、上級10名の計30名が参加してくれました。大会を模した課題に挑戦して「つくること、考えること、工夫すること」の楽しさを体感している姿が見られました。新たなレゴ教材「Spike プライム」は後援会にご協力いただき、迎えることができました。ご支援ありがとうございました。



《教諭 長谷川 凜》